

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	墨 昌芳 SUMI Masayoshi						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>前期は数回、教員が作成した資料を基に卒業論文の書き方について解説します。その後、各自の卒論のテーマ、概要について個人発表をしてもらい、それを基に教員が適宜コメントし、卒業論文の問題意識を高めていきます。後期からは、個別指導に入り、ゼミ生の卒業論文の内容の精緻化を図っていきます。適宜サブゼミを設け、卒業論文作成のために、徹底的な指導を行っていきます。最終的には、各自がゼミ生の前で卒業論文の発表を行い、相互の指摘をもとに、何度も書き直ししながら卒業論文を完成させます。さらには必要に応じて就職活動の支援も行っていきます。</p> <p>(備考) 土日を中心にサブゼミを適宜実施し、特産品を中心とした地域活性化への取組みを日向市の方と協力して進めていきます (任意参加)。</p>						
授業の到達目標	<p>①卒業論文作成のために、先行研究や先行事例を正しく調査することが出来る。</p> <p>②卒業論文作成のために、資料やデータを集め、適切に分析することが出来る。</p> <p>③卒業論文の作成を通じ、社会における課題を見つけ、解決策を提案できるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス：卒業論文に向けて	16	卒業論文の作成 個別指導 (第1グループ)			
	2	学術調査・研究の方法 (テーマ決め)	17	卒業論文の作成 個別指導 (第2グループ)			
	3	学術調査・研究の方法 (先行研究)	18	卒業論文の作成 個別指導 (第3グループ)			
	4	学術調査・研究の方法 (資料・データの収集)	19	卒業論文の作成 個別指導 (第4グループ)			
	5	学術調査・研究の方法 (ヒアリング調査、アンケート調査)	20	卒業論文の作成 個別指導 (予備日)			
	6	学術調査・研究の方法 (データ分析)	21	卒業論文の中間発表 (第1グループ)			
	7	卒業論文の個人発表と指導 (第1発表者)	22	卒業論文の中間発表 (第2グループ)			
	8	卒業論文の個人発表と指導 (第2発表者)	23	卒業論文の中間発表 (第3グループ)			
	9	卒業論文の個人発表と指導 (第3発表者)	24	卒業論文の中間発表 (第4グループ)			
	10	卒業論文の個人発表と指導 (第4発表者)	25	卒業論文の中間発表 (予備日)			
	11	卒業論文の個人発表と指導 (第5発表者)	26	卒業論文の添削・書き直し (第1グループ)			
	12	卒業論文の個人発表と指導 (第6発表者)	27	卒業論文の添削・書き直し (第2グループ)			
	13	卒業論文の個人発表と指導 (第7発表者)	28	卒業論文の添削・書き直し (第3グループ)			
	14	卒業論文の個人発表と指導 (第8発表者)	29	卒業論文の添削・書き直し (第4グループ)			
	15	卒業論文の個人発表と指導 (予備日)	30	卒業論文の添削・書き直し (予備日)			
授業外学修 (事前学修)	卒論発表のための準備を行う (30時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	卒論作成のための取組み (90時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	卒論の内容 プレゼンテーション ゼミへの貢献				70%	①、②、③	
				20%	①、②、③		
				10%	①、②、③		
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	教科書は特に使用しない。卒論に必要な資料を随時配布する。						
参考文献	<p>国土交通省観光庁『令和5年版 観光白書』日経印刷 (上記の観光白書は、国土交通省のホームページ上から全文無料で入手可能)</p> <p>酒井聡樹『これからレポート・卒論を書く若者のために』共立出版</p> <p>酒井聡樹『これから学会発表する若者のために』共立出版</p> <p>酒井聡樹『これから論文を書く若者のために (大改訂増補版)』共立出版</p> <p>高田高史『図書館のプロが伝える調査のツボ』柏書房</p>						
その他							